

九転十起

～協力隊だより～

平成27年4月から 地域おこし協力隊 活動開始!



地域おこし協力隊のメンバー。(上段左から)澤田、山下、稲垣(下段左から)釜石、藤田、左座

今回からこの「九転十起～協力隊だより～」で3ヶ月ごとの季刊で地域おこし協力隊の各協力隊員が行った活動報告や、それぞれが体験した氷見のよいところを皆様にお伝えして、皆様から活動へのご提案などをいただければと思っています。これからよろしく願いいたします。

当初は定員3名での募集でしたが、予想を上回る16名の応募があったため、合計6名が採用されることになりました。それぞれ「漁業文化の発信」・「氷見市のまちづくり拠点と空き家対策」・「農業の6次産業化と農村レストラン」と大きく3つの分野に分けて募集を行い、それぞれの分野に意欲あるメンバーが集まりました。

富山県氷見市では平成27年度より地域おこし協力隊の活動を開始しました。地域おこし協力隊とは、総務省が主導し全国各地の地方自治体が若者の移住・定住と地域の課題解決を進めるために創設された制度です。

発行：氷見市地域おこし協力隊
住所：氷見市鞆川1060
氷見市 地方創生と自治への未来対話推進課 気付
電話：0766(74)8013

魚を調理して、魚を食べ、魚の話をしていることが一番の幸せです。みなさんの知っているおいしい魚の食べ方もぜひ教えてください！

埼玉県さいたま市から来ました左座進介と申します。私は現役の大学院生で漁業を専攻しています。調査で氷見市を訪れた際、小杉の番屋でたくさんの漁師さんにお世話になり、そのときの感動が忘れられず氷見に移住してきてしまいました！

31歳 埼玉県出身
左座進介

まずはみなさんの「これが好き！」を教えてください！

育ちは東北ですが芸術系大学に通うため上京し、ビデオカメラマンをしながら生活していました。漁師さん取材したドキュメンタリー映像や展示を制作しています。「映像をつかった地域おこし事業」に携わってきた経験を生かし、氷見市に住むみなさんが地域にあるものを「おもしろい」と再確認してもらえような作品をつくり、まちづくりに繋げていきたいと思えます。みなさんしか知らないようなエピソードを是非ばくに教えてください！すぐカメラをもって駆けつけます！

23歳 青森県出身
釜石拓真

氷見の皆さん、こんにちは！

協力隊員自己紹介

私は市内にある空き家を活用し、都市の人達を氷見に引き込むために活発にアピールしていきたいと考えています。自分たちで家の床を張るなど、補修をしながらその家の使い方を一緒に考えていくワークショップを開催した経験もあり、氷見市でも空き家を活かした活動をしていく予定です。まずは共に住む協力隊員達と話し合いながら、若い人たちが集まる拠点を作り上げていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

34歳 福岡県出身
山下健太郎

まずはみなさんの「これが好き！」を教えてください！

営業マンとして千葉県各地を飛び回りながらも、学生時代に地域活性化を図るアート・イベントの企画運営に携わった体験が忘れられず一念発起。今一番楽しそうなまち氷見に移住を決めました。協力隊としては空き家を活用したイベント、ひとの集まる場所づくりを実践していくつもりです。アート、音楽、読書、映画、それぞれが好きなお話を語り合い、新しいひとの繋がりができるように、まずはみなさんの「これが好き！」を教えてください！

28歳 千葉県出身
藤田智彦

金融機関、団体職員、ホテルマネージャーを経て、今回速川地区で地域おこし協力隊としてお手伝いさせていただきます。ただ今ことになりました。農業の6次産業化プランナーと野菜ソムリエとして、料理作りと自然と音楽をこよなく愛し、地域の掘り起こして、キラキラ光る宝石に変えていきたいと思えます。今回の氷見市地域おこし協力隊では最年長ではありますが、様々な知識と豊かな経験で頑張り張つていきたいと思えます。今後ともよろしくお願いたします。

49歳 福井県出身
澤田典久

以前は富山市の里山を中心に、農業、里山のイベントスタッフ、里山のお爺ちゃんやお婆ちゃんの生活のお手伝い、小さな活動団体が悩むSNS情報発信を都市住民目線で伝えるお手伝いをしていました。氷見市は里山の食材の宝庫であることを積極的にPRしていきたいです。氷見の皆さんと一緒に毎日日土いじりをして汗水かいて働きたいと思っています。45歳で協力隊の中では2番目の年長者ですが、皆様よろしくお願いたします。

45歳 愛知県出身
稲垣信志

